

GCL NEWSLETTER 第 29 号 (2016.02)



Workshoppers2016: GCL グローバルデザインワー クショップ第3回報告会

■ GCL グローバルデザインワークショップ第3回報告会

ワークショップの教育研究をおこなうGDWS (GlobalDesign Workshop) の2015年度の活動をふり返るGolobal Design WorksShop (GDWS) 第3回報告会の内容を、GCL コース生で工学系研究科都市工学専攻修士課程1年の寺田悠希さんに取材・寄稿してもらいました。



今年で、3回目となる Global Design WorkShop (GDWS) の報告会こと、"Workshoppers 2016" が2月27日(土)に行われました。

まず、苗村先生による開会の挨拶とGCLにおけるGDWSについての概要の説明がありました。

次に、後藤先生と林先生がWS-AとWS-Bをダイジェストで紹介していきました。実際に参加したことのないワークショップは多数あり、各分野で多様なワークショップが開かれていること自体がGCLの持つ価値なのかな、と再認識しました。

WS-Cについては、実施した学生自身が発表をしました。農学生命科学研究科の石渡さんは、福島県飯舘村での「まていな農村計画(マキバノハナゾノ計画)」に関するワークショップをされました。後ほどのポスターセッションで資料を見たのですが、毎週のようにワークショップが行われ、さらに留学生も参加していたとのことで、とりまとめなどに苦

労されただろうな、と感じました。経済学研究科の岩尾さんはワークショップを行う先の企業が変更になったり、情報が公にできなかったり、と経営学という分野でワークショップを行うことの難しさを発表されていました。お二人の発表からワークショップ実施における困難さをうかがって、数年後にWS-Cをやる身としては身につまされる思いでした。一方で、研究の幅が広がりそうという前向きな気持ちにもなりました。

ポスターセッションではほぼすべての今年度行われたワークショップのポスターが会場一面に張り出され、各WS参加者に質問を投げかける光景が処々に見られました。私自身もすべてのWSの概要を読み、各分野が各分野なりのワークショップを行っている、つまりワークショップの形はひとつではないのだな、と気づきました。また、各WSとも大学教員以外のいわゆるプロの方を外部から招いているものも多く、ワークショップそのものの内容だけではなく、外部で活躍



パネルディスカッションの様子(左からパネラーの苗村先生、渡辺ゆうかさん、渡邊英徳さん)

されている方とつながりを持てる機会にもなっているようでした。

パネルディスカッションでは、苗村先生と渡邊英徳さん(首都大学東京・准教授)と渡辺ゆうかさん(FabLabKamakura,LLC 代表 / 慶應義塾大学SFC研究所訪問研究員)の3人で実践的研究方法としてのワークショップについて議論が交わされました。これまでの多様なワークショップの経験から、議論の中では「(学生や参加者に)教え過ぎないこと」「多様な人間が必要」「研究に使うのは難しい」などの意見が出てきました(書きたいことはもっとあるのですが……)。お話を伺いながら、GDWSのWSそれぞれの失敗談などの意見交換などができると今後につながるのではないかと考えたのが頭をもたげました。

今回、参加してみて改めて分野を超えたつながりをもたらす価値を実感しました。ぜひ、来年度はこれを読んでいる皆さんもWorkshoppersに参加してください!

(取材・文・写真 寺田悠希さん)



(上) 経済学研究科の岩尾さんのプレゼンテーションの様子。
(下) ポスターセッションでは参加者間で積極的な意見交換が行われた。

■ イベント告知

● 2016/03/11 Global Design Seminar: 「DMM.com の現在とインターネット業界の未来、そして新規事業の作り方」

本講演会は、GCL プロジェクトインキュベーション機構、特定非営利活動法人グローバルビジネスリサーチセンター、東京大学ものづくり経営研究センターの共催により開催されるものです。

参加方法：東京大学の学生は参加費無料

事前申込が必要です。定員になり次第締め切ります。詳しい内容については、下記サイトをご覧ください。特定非営利活動法人グローバルビジネスリサーチセンター コンピュータ産業研究会
<http://merc.e.u-tokyo.ac.jp/shintaku/comken/info.html>

※ GCL コース生は上記とは別途、参加／不参加について事前登録が必要です。

日時：2016年3月11日（金）18:30～21:00
場所：東京大学ものづくり経営研究センター

報告者：亀山敬司 株式会社 DMM.com 代表取締役会長

テーマ：

「DMM.com の現在とインターネット業界の未来、そして新規事業の作り方」

要旨：多角的経営をしている DMM.com グループの過去と現在までの取り組み、そして、今のインターネット業界の動きに関して DMM の創業者である亀山敬司氏がありのままにお話しします。さらにその状況の中でどのように新規事業を作っていくのかご紹介いたします。

● 2016/03/22 第33回農業農村情報研究部会勉強会：「農業農村を活性化するゲームアプリの可能性」

日時：平成28年3月22日（火）13:30-17:00
場所：東京大学弥生講堂アネックス（農学部内）
参加費：なし

主催：農業農村工学会・農業農村情報研究部会
共催：東京大学ソーシャル ICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム (GCL)

趣旨：

農業就業者の減少及び高齢化が進行し、TPP によって日本の農業農村が大きく変貌しようとしています。こうした中、農村を維持し、農業を持続的に発展させるには、農業の担い手の育成を図ると共に多くの国民に農業に関心をもってもらう必要があります。

現在、将来を担う若い世代に農業に関心を持ってもらうため、多くの小学校では総合学習の時間に体験型の田植え実習などを実施していますが、必ずしも子供たちに明るい農業をイメージしてもらえるには至っていないようです。デジタルネイティブ世代にはそれ相応の伝え方を工夫する必要があります。

一方、若い世代では SNS として、Twitter、Facebook、LINE といった情報交換ツールが浸透し、数々の新しいスマホ用アプリが開発されています。

そこで、本研究部会では、農業系アプリの開発や利用に関心をもつ方を講師に迎え、現在国内にある農業農村に関するアプリをレビューしてもらい、それをヒントにハッカソン方式で農業農村の活性化するゲームアプリの可能性について議論したいと思います。

勉強会の休憩時間には、新作アプリによるゲーム大会も予定しています。皆さま奮ってご参加ください。

参加申し込み：Web から申し込んでください。（<http://densuke.biz/list?cd=ndDRAFGtENR2sWm9>）

編集・発行：

情報理工学系研究科・GCL 広報企画

渋谷遊野（学際情報学府 M2）、小川奈美（学際情報学府 M1）、曾我遼（情報理工 M1）

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学工学部 8 号館 621 号室 GCL 事務局